

東雲だより2020

12月に入って乾燥した日が続きます
コロナは湿度が低いと活発になるとか
50%以上での湿度管理を！



①インストール研修の結果と予定

②「浴室断熱リフォームの注意点」特集

③荒尾先生寄稿「ヒートショック」

④ラボ紹介「ところざわサクラタウン」

*東京都の解除宣言をうけて7月からインストール研修を開催致しております
再開に当たっては、検温、マスク着用、手指の消毒、フェイスシールド・
使い捨て手袋の使用、換気等万全の対策をとり実施させていただきます。



キッチン水栓の設置研修用の作業台を作りました。
新型水栓は、上面施工方式をとっており、随分楽になっています。

インストール研修の予定



配管洗浄研修



介護実務者研修



ガス可とう管資格講習



配管漏水阻止研修

【インストール研修予定と結果をご報告します】

11/9～26 東京電力様社員水回り研修

11/10,17 日建学院様介護実務者研修

11/11 不二商会様便器設置研修

11/11 三井デザインテック様社員研修

11/13 ガス可とう管資格講習

今後の予定

1/19 システムバス現調研修⇒空いてます

2/4 システムキッチン研修⇒空いてます

2/9 配管接続研修 ⇒空いてます

2/16 便器・ウオシレット設置研修⇒空いてます

「 ヒートショック対策にむけて 浴室断熱リフォームの注意点 」

日本の住宅の省エネレベルは、世界的には大幅に後れを取っており、隙間だらけのスカスカの家でした。しかし、日本政府も無策ではありません。オイルショック直後の1980年（昭和55年）に住宅の省エネルギー基準を初めて制定。1991年（平成4年）と1999年（平成11年）の二度に渡ってレベルアップを図ってきました。段階ごとに断熱材の厚みもまして来ており、工法も進歩しています。

ただし、これは新築の話であり、リフォームにおいては断熱材や気流の扱いがよく分からず、結露やシロアリの被害がでたり、システムバスにリフォームしても一向に暖かくなならないなどのクレームが絶えません。そこで、今回のテーマである、ヒートショック対策に向けて、暖房機器に頼らない正しい省エネリフォームを教えます。

戸建住宅の浴室断熱リフォームの落とし穴

ヒートショック対策は、居室⇒洗面所⇒浴室の過程で発生します。要は、浴室と洗面所の温度を上げることですが、今回は浴室に絞って対策を検討したいと思います。マンションは、気密性が高く、浴室に窓もないためシステムバスであればそのまま保温性が一定以上保たれています。浴室乾燥暖房機を数分かければ、すぐに暖かくなります。これに反して、平成4年以前の戸建住宅は、北海道を除き、湿気の強く、じめじめとした暑い夏向きに設計されています。木造住宅を湿気による腐食から守るため、基礎の通風孔から通気は床下、壁内を通して天井へ抜けています。従って、浴室の床下の**基礎断熱**や**気流止め**を行わなければ、システムバスにリフォームしても地面や通風孔からの冷気は防ぎきれず、クレームになるケースも多いのです。また点検用の**床下開口**も発泡スチロールで**塞ぐ**必要があります。気流止めは、基礎パッキンの隙間を発泡ウレタンで塞ぎます。

基礎パッキンと発泡ウレタン
↑基礎パッキンの隙間に発泡ウレタンを吹いて隙間を埋めた写真
保冷バックで隙間を開けて使うことがないのと同じ原理です

床下開口塞ぐ

発泡ウレタン吹付け

基礎断熱

基礎パッキン

風上から風下へ、床下を自然換気で風が通り抜けるため、湿気がこもらず、シロアリを寄せ付けない環境を保ちます。

各メーカー/システムバスの断熱

システムバスの断熱対策としては、20年程前からTOTOから魔法びん浴槽が発売され、各メーカーともそれを追い、またそれぞれの特徴を持って新しい機能を付加してきています。浴槽まわりの断熱は、どのメーカーでも標準仕様ですが、天井、壁、床の断熱は、ほとんど標準になってはならず、タイプによってセレクト対応やオプション対応になっています。

TOTO

ラクがるふろふた
材質:発泡ポリプロピレン

浴槽
材質:人工大理石

浴槽断熱材
材質:発泡スチロール

断熱防水パン
材質:発泡ポリプロピレン

※図はイメージです。実際の仕様とは異なります。また、取り付ける器具によって断熱材の形状は異なります。

リクシル

表面処理層
水となじむ成分
(撥油層)
油をはく成分
水はけの良い
裏パターン

中空パレレンを含む断熱層

中空パレレン 断熱層改良

床本体を構成する
基材層

構造図 ※イメージ図です。

パナ

サーモグラフィーによる保温性能比較

保温浴槽
熱がほとんど逃げないので浴槽の外は低温(青色)に。

保温なし浴槽
熱がどんどん逃げてしまい、浴槽の外は大半が赤色に。

[測定条件] 室温約43℃ 満水状態で風呂フタ閉

床接触 15秒後のサーモグラフィ (単位:℃)

右足「従来の床」に接触 左足「キレイサーモフロア」に接触

温度

(天井・壁の断熱)

(床の断熱)

(基礎)

基礎パッキン

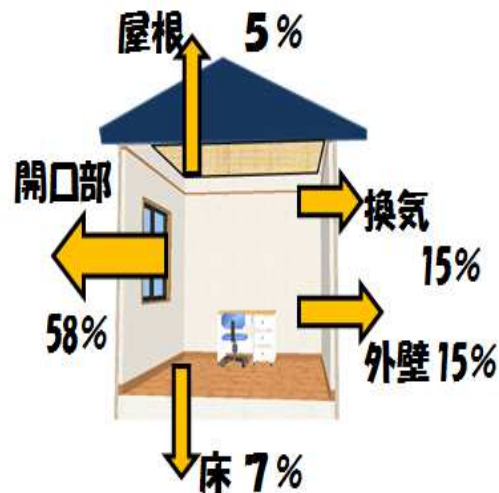
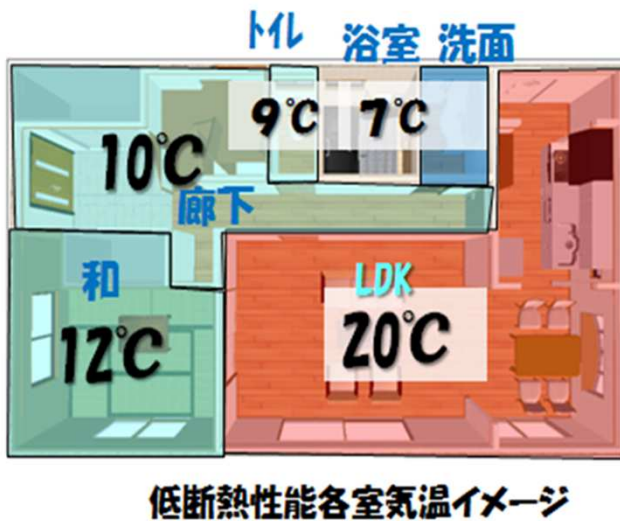
床下から浴室の外側に流れる空気を基礎パッキンで塞いで保温。また床下の浴室の断熱材が床から冷めるのを防ぎます。

「 ヒートショック 」

一級建築士 荒尾 博

冬になるとヒートショックで亡くなる方が増えます。特に、入浴時の死亡者は年間19,000名余りもいるのです。因みに痛ましい交通事故死者数は3,215名(2019年)、この数字を聞くと多くの方が驚かれます。

ヒートショックとは、家の中の急激な温度差により血圧が大きく変動することで失神や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こし、身体へ悪影響を及ぼすことです。



画1 断熱性の低い住宅温度差イメージ

画2 エネルギーロスイメージ

画1は断熱性能の低い住宅でLDKにエアコンまたはストーブで暖房をしたときの他の部屋の温度がどうなるかのイメージです。

想定は関東平野で外気温は一桁の低い感じとしてみてください。いろいろな資料を参考にしたもので誤差はあると思います。室温を20°Cにしたとするとそのロスは画2のイメージのように約半分強は開口部からロスします。リビングなどの場合、掃き出しのサッシなど大きな開口部がありますからロスは大きいと思います。

室内ではどうかというと和室は南向きなので太陽光などの影響もありますが、それでも8°C前後低い12°Cほどです。しかし、北面にあるトイレや洗面脱衣室は一桁の室温になっています。その結果、お風呂に入ろうと服を脱いでいる間や浴室ではその気温差に体は追いつけずヒートショックになってしまうのです。

実際、私の昔の家でもお風呂に入った瞬間、室の寒さにブルツと震えたことやゆっくり温まったはずなのに洗面脱衣室で体を拭いている時に寒さに震えた記憶があります。その実家の外壁は、断熱材は入っているものの突っ込んだだけの感じで床下から外壁、小屋裏まで隙間だらけだったと思われるので、外気より少し暖かい程度だったのは確かなのです。

もっとも田舎では広い玄関の土間や別棟の土間に薄いカーテンで仕切られただけの空間に五右衛門風呂があって、浮いているスノコにうまく乗って入浴した話も聞いたことがあり、湯船に浸かっているときだけが暖かいだけというのが当たり前だったのです。

今回所沢市に11月6日オープンした「ところざわサクラタウン」に行ってきました。

ここは、所沢市と株式会社 KADOKAWA の共同プロジェクトであり、みどり・文化・産業が調和した、誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」地域づくりを進める構想のもとにつくられました。

KADOKAWA が建設する拠点施設「ところざわサクラタウン」を中心とした、半径約 500m 圏内の重点推進エリア「COOL JAPAN FOREST」において、双方が協力して文化事業や企業誘致、統一的な空間演出を行うなど、産官共同で事業を展開します。中に入ると、美術館、博物館、図書館も入った総合複合施設で、まる一日かかっても飽きない情報発信基地になっています。

所沢市東所沢和田3-31-3
武蔵野線東所沢から徒歩10分
チケットはネット予約制



東雲だより 12月号”編集後記 ☆ドルチエ☆ — あんこう鍋 —

すっかり寒くなりましたね～。こうも寒いと温かい鍋が体に染みる...先日エコ次郎先生が「冥土の土産にあんこう鍋が食べたい！」なんて言い出したので、神田の老舗「いせ源」さんにお邪魔して来ました。あんこう専門店とあって、メニューはあんこうに関する数点のみ。まずは絶対に外せないあん肝と唐揚げをつまみに乾杯！今まであんこうと親しくする機会がほとんど無かったので知らなかったんですけど、と～っても美味しいものだったんですね！唐揚げも癖がなくてペロツといけちゃいます。



お待ちかねのお鍋は珍しい醤油ベースで、野菜にもあんこうにもしっかり味が染み込んで、それはそれは美味しかったです。そして最後のメの雑炊があんこうの旨みを全て吸い上げてくれて、もうこれを食べちゃったら他の鍋はしばらく食べられない！それくらい美味でした。エコ次郎先生も大満足のご様子で、行った甲斐がありました。余りの美味しさに元気が出たので、12月の残りも頑張れそうです。ふぐ鍋や火鍋も美味しいけど、あんこうの醤油鍋オススメです(^_^)



佐藤深雪

橋本総業

東雲研修センター

〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-7 東京配送センター内
TEL.03-3527-5900<代> 営業日▶月～金9:00～17:00 土: 応相談

●お問い合わせは
TEL.03-3527-5628 FAX.03-3527-6070



お問い合わせは